

2019年3月11日

報道関係各位

ブルーイノベーション株式会社

無線通信拡張ユニット RANGE EXTENDER を発売

球体ドローン ELIOS による点検作業が、さらに遠く、さらに奥まで可能に

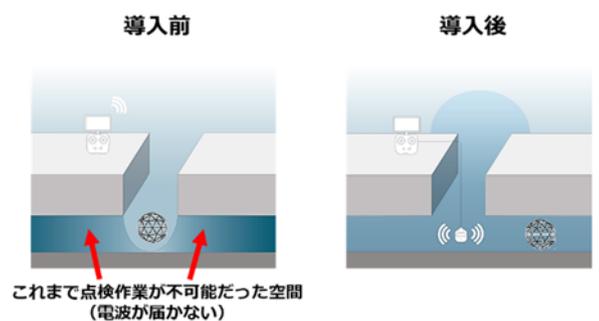
ブルーイノベーション株式会社(本社:東京都文京区、社長:熊田 貴之、以下ブルーイノベーション)は、ドローンの先駆的ソリューション・プロバイダーとして、複数のドローンを協調・連携させて複雑なミッションを達成可能な統合管理プラットフォーム Blue Earth Platform (BEP) を軸に、警備、屋内点検、教育・安全、エンタメ、物流の5つのサービスを展開しています。

特に、Flyability SA(本社:スイス ローザンヌ、共同創業者兼 CEO: PATRICK THÉVOZ、以下 Flyability)と昨年、業務提携し、屋内狭小空間での飛行に最適な性能を持つ ELIOS を活用し、これまでにない屋内点検分野での新たなソリューション・サービスを展開し、ボイラーやタンク、工場の高所等、狭小空間の点検において着実にユーザー層を広げてきました。一方、地下の閉塞空間で遠隔操作する場合、複雑な地下トンネル等では電波の送受信可能な範囲に制約があり、点検作業ができないといった課題がありました。そこでこの度、無線通信拡張ユニット RANGE EXTENDER を新たに発売する運びになりました。価格は100万円前後(税別)を予定しています(来月発売)。

■無線通信拡張ユニット RANGE EXTENDER 特長・導入事例

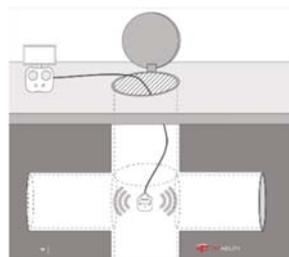
無線通信拡張ユニット RANGE EXTENDER を導入することで、プロポより最大20m先までケーブルを伸ばして送受信機を配置でき、より広範囲での点検作業が可能となります。

既に海外において、壁が電波を吸収しやすいコンクリートで構成された下水道空間、落盤などで危険の多い地下坑道、壁面に金属が多い狭小空間、遭難救助等で導入実績があり、日本でも同様の展開を計画しています。



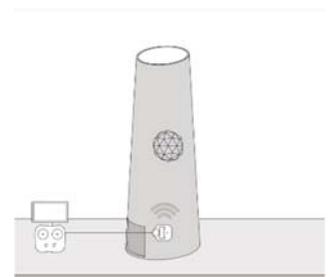
① 下水管点検の事例

RANGE EXTENDER を下水道管内に配置することで、広範囲に下水道内の操縦が可能となります。



② 金属の多い狭小空間の事例

壁面、内部に金属が多い空間でも、RANGE EXTENDER により通信障害なく、操縦可能になります。



■無線通信拡張ユニット RANGE EXTENDER 仕様

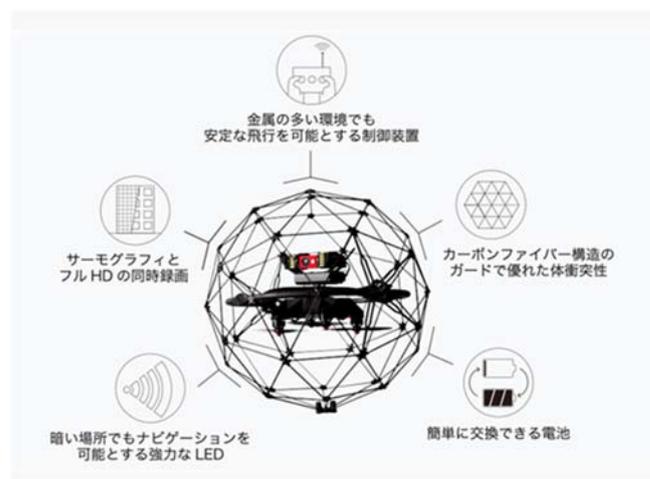
①電波を発信・受信するアンテナ・モジュール、②信号を中継増幅するパワー・モジュールと、③2mケーブル、④20mケーブルで構成されています。

2mケーブルはコントローラーとパワー・モジュールを接続し、20mケーブルはパワー・モジュールとアンテナ・モジュールを接続します。アンテナ・モジュールは防滴・防塵仕様で、内蔵アンテナを備えています。パワー・モジュールはバッテリー残量通知機能を備え、バッテリー用ストラップ・取り付けバックル付きです。適性使用温度は0～40℃です。



■点検ドローン ELIOS について

ELIOS は、コンパスエラーが出ない、壁面に衝突しても安定した飛行を続けることができる、球体のカゴが回転してもカメラは安定して撮影することができる、強力なLED照明（28W）が暗闇の中を明るく照らせる等の特長を活かして、機械設備の多い工場や設備内部・配管などのGPSの入らない特殊な環境においても、安全かつ安定した飛行で点検が可能です。これまで点検作業が難しかった、工場、プラント、トンネル・配管といった現場での低コストで安全な点検業務を実現します。



■ブルーイノベーション株式会社 会社概要

所在地：東京都文京区本郷五丁目33番10号 いちご本郷ビル4F

代表：代表取締役社長 熊田貴之

設立：1999年6月10日

資本金：4億41百万円

事業内容：「ドローン・ロボットを通じて、世界に貢献するグローバルカンパニーになる」をビジョンに掲げ、ドローンの先駆的サービス・プロバイダーとして、複数のドローン・ロボットを遠隔で制御し、統合管理するためのベースプラットフォームであるBlue Earth Platform (BEP)を基軸に、点検、警備、物流、教育・安全、エンターテインメントの5つの分野でサービス展開しています。

URL：<http://www.blue-i.co.jp/>

【本リリースに関する問い合わせ先】

ブルーイノベーション株式会社 広報室

電話：03-6801-8781 E-mail：press@blue-i.co.jp